

学校教育目標
自らの力で問題を解決する実践力と、地域に貢献できる創造力豊かな人づくりを目指す

重点目標
① 生徒一人ひとりの人権を尊重し、いじめのない安全で安心な学校づくりに向けた取組の充実を図る ② 各教科の指導、進路学習や就業体験等を通して、自己実現に向けたキャリア教育の充実を図る ③ 基礎知識の定着、資格取得、生徒会や部活動などの指導の充実を図る ④ 長期休業や放課後などに学習支援を行い、教科指導の充実を図る ⑤ 学校評価、授業評価のアンケート結果を生かし、授業改善と授業力の向上を図る



評価の内容						
領域	対象	評価項目	評価の観点(活動目標)	評価(A・B・C)	コメント	
教育活動	教務	行事運営の円滑な推進	各種行事について年間計画を作成し、円滑な実施ができたか	A	各担当係・委員会と連絡を取り、日課を工夫しながら、各行事を実施できている。	
		地域に根ざした学校づくりにつながる機をとらえた情報発信	学校ホームページ等による効果的な情報公開・提供ができたか	A	昨年度以上に池工日誌を更新し情報発信に努めた。授業の様子も公開し、充実した内容になっている。	
			家庭との連携がスムーズにできたか オクレンジャーの活用及び報告・連絡・相談等	B	熊や大雪、学級閉鎖の対応などオクレンジャーを活用しスムーズな連絡ができた。災害時に備え安否確認のテスト配信も行った。	
		安全対策の強化	危機管理マニュアルを周知・理解することができたか	B	工業科特有の怪我・事故について内容の見直しを行った。避難所用のエアーマット、パーテーションを新たに保管し、保管場所の周知を行った。	
		校内学習環境の整備	生徒が落ち着いて学習に取り組める環境を整えることができたか	B	一部教室の照明のLED化や階段の改修等で学習環境が昨年度より充実した。	
	進路学習支援	一人一人に合わせたキャリアの醸成	進路実現に向けた具体的かつ実践的な取り組みができたか	A	計画的に進路講話・ガイダンス・企業説明会を行い、生徒一人一人の進路実現に取り組んだ。	
		基礎学力の定着	長期休業や放課後などに学習支援を行い、学び、考え、成し遂げる習慣が身についたか	A	学年と協力して、基礎力診断テストの事前学習や0時限の学習・補習を計画的に行うことができた。	
		資格取得に向けた指導	実践的で創造的な技能・技術の向上資格取得に向けた支援ができたか	B	進路学習の中で、資格取得の重要性を伝えて実践するように促した。	
	生徒支援	安全・安心・充実した高校生活ができる学校づくり	交通マナーやエチケットの継続的な指導ができたか (自転車、交通ルールの遵守等)	B	HRや全校集会で、マナーやエチケットを呼び掛けている。自転車やバスの乗車マナーについて更に指導を徹底していきたい。	
			いじめ 問題行動 不登校への支援 職員の連携・情報共有ができたか	B	諸問題について職員全体への情報共有に努めた。職員間の連携については更に進めていきたい。	
	生徒会	生徒会活動・行事等の企画運営	主体的・積極的な取り組みとしての活動を支援できたか	A	生徒が考え取り組みができるよう支援できた。さらに自ら考え行動できるよう工夫をしていきたい。	
		日常生活の充実	基本的な生活習慣を身に着ける支援ができたか(挨拶・制服のきこなし等)	B	あいさつ運動等を通して支援をしてきた。制服や公共交通機関利用のルール等について生徒支援とも連携を図り継続的な支援をしていきたい。	
	学校整備	環境整備	校内外の環境美化	毎日の清掃や校外朝清掃等を通して社会適応力の向上を図ることができたか	A	毎日の取り組みや校外朝清掃の実施を通して環境を整えることやその場に感謝することを考えてきた1年だった。ゴミの分別やマナーについて引き続き呼びかけ等を行っていきたい。
		開かれた学校づくり	地域と連携した協働的な学び	授業公開や研究授業を実施し、地域や保護者の声に耳を傾けながら、授業改善や教員の指導力向上が図れたか	A	研究授業を5回実施した。授業公開のみならず、多くの個別見学希望にも柔軟な対応ができた。体験入学では、見学ツアーを新たに実施し好評だった。
中学生や保護者が本校の教育内容に興味・関心を持ち、本校受検につながるような情報発信を工夫できたか				A	「わくわくものづくり体験教室」を2回実施し、小中学生や保護者、地域の方々に、ものづくりに興味を持ってもらうことができた。	
工業科の魅力伝えるため、中学校訪問や進学説明会等の企画および内容について一層の充実が図れたか				A	本校生徒が中学校に訪問して説明するなど、中学生に寄り添った説明を実施することができた。また、昨年度以上にパンフレットを配布できた。引き続き魅力ある発信方法を模索していきたい。	
その他		職員の資質向上	授業アンケートなどから授業改善する工夫を試みることもできたか	B	観点別評価から授業を振り返ったり、匿名性を担保したアンケート結果を真摯に受け止めて自己研鑽に努めた。	
	校内外の研修会などに参加し、成果や情報を共有することができたか		B	非違行為防止に向けた研修やコンプライアンス研修、特別支援研修等を実施し、情報共有に努めることができた。		

評価 A:達成できている B:ほぼ達成できている C:あまり達成できていない